

初めて
尾道インター降りてみた!!

左に行ったら
千光寺。

尾道ラーメン



豚の背脂を浮かべた
しょう油味の鶏ガラスープに
特徴的な平麺がベストマッチ。
麺を持ち上げた時の
立ち昇る風味がたまらない

尾道ラーメンはその名の通り、尾道市を発祥とした広島県東部に広がるラーメンスタイルです。鶏ガラで取った澄んだダシと瀬戸内の小魚からとったダシに醤油を合わせたスープがベースですが、表面に浮く背脂のミンチがこってり感を加えています。麺は中細で平打ちのものが多く使われています。具はネギ、チャーシュー、メンマなどのオーソドックスなものがのっています。古くは戦前から現在まで尾道市で『中華そば』として提供されていました。

中華そば

尾道では珍しい細麺と
大きめチャーシューが
特徴

お邪魔した「東珍康」のスープは豚骨鶏ガラの動物系にいりこ出汁を加えた淡口醤油味。尾道の特長である「背脂」はスープで煮込んであり、粒の大きさは様々で甘さと食感を楽しめる。地元の細麺や九条ネギとの相性も良く、尾道ラーメンが初めての人にはピッタリ。大きめのチャーシューも嬉しい。それでいて驚くほど安い。



おすすめ
Photo
スポット

猫の細道
行って見た!

なでると軽くなり
叩くと重くなると
尾道イーハトーヴに
古くから言い伝わる
不思議な福石猫

商店街で見つけた
レトロな建物
なんだか良い感じ。

銭湯を
リノベした
中華レストラン!

サイクル
シップでGO!!

108匹の福石猫が
隠れてるんだって
何匹見つかる
じゃろう

尾道の人気スポット
「ONOMICHI U2」

すげー
きれいじゃ。

平山郁夫美術館

瀬戸田町出身の日本画家・平山郁夫
の子供時代の作品やシルクロード
の大作などを展示しています。

瀬戸内しまなみ海道

「瀬戸内しまなみ海道」は西瀬戸自動車道の愛称で、本州・広島県尾道市と四国・愛媛県今治市の8つの島、9つの橋を全長約60kmで結ぶ架橋ルート。しまなみ海道の最大の特徴は、徒歩や自転車でも渡ることができることで世界屈指のサイクリングコースです。

高見山(瀬戸内海国立公園)

標高283m。国立公園に指定されています。頂上の展望台からは眼下に因島大橋や瀬戸の島々を一望でき、天気の良い日は四国連山まで望むことができます。

水軍城
なんか
すげーなあ

因島水軍城

日本遺産に認定された「村上海賊(村上水軍)」の貴重な資料を展示した、日本で唯一の水軍城。南北朝時代から室町・戦国時代にかけてこの地で活躍した村上水軍の甲冑や刀剣、戦術を記した巻物などの資料をとおして彼らの功績を紹介しています。

白滝山

標高226.9m、因島を代表するビュースポット。夕日のスポットとしても知られ、黄金に輝く瀬戸内海の景色を堪能できます。

瀬戸田サンセットビーチ

800mにもわたる白い砂浜と澄んだ青い海は中国地方でも屈指の海水浴場。

地元の新鮮
野菜いろいろ
あったてえー

道の駅 クロスロードみつぎ

尾道の北部・国道184号
沿いにある道の駅。



JAPAN HERITAGE

日本遺産

尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市



尾道三山と対岸の島に囲まれた尾道は、町の中心を通る「海の川」とも言うべき尾道水道の恵みによって、中世の開港以来、瀬戸内随一の良港として繁栄し、人・もの・財が集積した。その結果、尾道三山と尾道水道の間の限られた生活空間に多くの寺社や庭園、住宅が造られ、それらを結ぶ入り組んだ路地・坂道とともに中世から近代の趣を今に残す箱庭的都市が生み出された。迷路に迷い込んだかのような路地や、坂道を抜けた先に突如として広がる風景は、今も昔も多くの人を惹きつけてやまない。

尾道 日本遺産

- 坂道と路地の景観(市街各所)
- 西國寺仁王門
- 西國寺金堂・三重塔
- 浄土寺本堂及び境内地、多宝塔など
- 西郷寺本堂・山門
- 天寧寺塔婆
- 千光寺 阿弥陀三尊像(唐土仏)
- 持光寺 絹本着色普賢延命像
- 常称寺本堂・観音堂・大門・鐘楼
- 旧福井邸
- 奥領軒庭園
- 旧尾道商業会議所(尾道商業会議所記念館)
- 旧尾道銀行本店(おのみち歴史博物館)
- 竹村家
- 西山本館
- みはらし亭
- ベッチャー祭(毎年11月1日～3日)
- 吉和太鼓おどり(西暦偶数年の8月18日)
- 住吉祭(毎年7月下旬～8月上旬ごろ)
- 旧三井住友銀行尾道支店
- 尾道遺跡及び出土遺物



千光寺公園

尾道のシンボルになっている「千光寺公園」。春は「さくらの名所100選」に選定。展望台から見る夜景は夜景100選にも選定され、デートスポットとしても人気です。



浄土寺本堂及び境内地、多宝塔

616年、聖徳太子の創建と伝えられており、「本堂」「多宝塔」は国宝、「山門」「阿弥陀堂」は国重文、境内一帯は国宝に指定されていることから別名「国宝の寺」と呼ばれています。



みはらし亭

尾道ゲストハウス「みはらし亭」は、築100年の古民家を再生したゲストハウスです。



天寧寺

境内山手には貞治6年(1367)に足利義詮が建立した国重文の塔婆(海雲塔)があり、塔越しに見る風景は尾道を代表する風景。三重塔は、建築当時は五重塔であったと伝えられています。五百羅漢は全部で526体、江戸時代の文化年間(1804～1824)から明治初期の約60年間をかけ寄進されたもの。



住吉祭

江戸時代に港町の商人たちにより始められ、尾道水道という港町の象徴的な空間中である「東の両国、西の住吉」と呼ばれた花火まつり。

“日本最大の海賊”の本拠地:芸予諸島



戦国時代、宣教師ルイス・フロイスをして“日本最大の海賊”と言わしめた「村上海賊」「Murakami KAIZOKU」。理不尽に船を襲い、金品を略奪する「海賊」(バイレーツ)とは対照的に、村上海賊は掟に従って航海の安全を保障し、瀬戸内海の交易・流通の秩序を支える海上活動を生業とした。その本拠地「芸予諸島」には活動拠点として築いた「海城」群など、海賊たちの記憶が色濃く残っている。尾道・今治をつなぐ芸予諸島をゆけば、急流が渦巻くこの地の利を活かし、中世の瀬戸内海航路を支配した村上海賊の生きた姿を現代において体感できる。

—よみがえる村上海賊“Murakami KAIZOKU”の記憶—



因島水軍城



向上寺三重塔

曹洞宗のお寺。潮音山の山頂にある国宝三重塔は、永享4年(1432)に建立されたもので、全体の高さは19m和様唐様の混合様式の塔です。



白濁山

因島を代表するビュースポット参道や山頂付近に点在する五百羅漢の石仏



鼻の地藏

鼻の地藏さんに祈願し思いがこめられた小石を持ち帰ると恋が成就すると言われてます。